

フォーラム2008：「食」を通して見る日中韓の暮らしと文化

今年で7回目を迎える「フォーラム2008」は、みなさんのリクエストが多かった「食文化」をテーマにしました。「フォーラム2008」では、初めに、日本、中国、韓国の食に関するテレビCMを比較対照し、「食」に対する感覚の多様さを提示します。続いて、韓国料理研究家のリュウ・ヒャンヒさんと中国料理研究家のウー・ウェンさんの対談を通じ、これらの地域に共通するものと違いをみなさんと一緒に考えたいと思います。

日時： 11月6日（木）18：15～21：00

会場： 城西大学東京紀尾井町キャンパス内ホール（B1階）

http://www.josai.ac.jp/info/access_map03.html

地下鉄有楽町線 麴町駅1番出口より徒歩3分

地下鉄南北線 永田町駅9番出口より徒歩5分

地下鉄丸の内線・銀座線 赤坂見附駅弁慶口より徒歩8分

JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分

入場無料 どなたもお気軽にご来場ください（お申込み先着順150名まで）

プログラム

第1部 テレビCMから見る日中韓の食文化

筑波大学教授 今泉容子

第2部 対談

中国料理研究家 ウー・ウェン（呉雯）

韓国料理研究家 リュウ・ヒャンヒ（柳香姫）

第3部 フロアとの対話

お申し込み方法

氏名・年齢・ご希望人数・連絡先を記し、Eメール（またはFAX）で国際文化フォーラム「フォーラム2008係」までお申し込みください。10月24日（金）必着。定員に達した時点で締め切らせていただきます。お申し込み後、参加受け付けの返信をお送りいたしますので、当日会場の受け付けでご提示ください。

お申し込みと問い合わせ先

国際文化フォーラム「フォーラム2008係」

mail. forum2008@tjf.or.jp fax. 03-5322-5215 tel. 03-5322-5211



出演者プロフィール

今泉容子（筑波大学教授）



専門は映画研究、英文学研究、ジェンダー研究、比較文化論。文学博士（アメリカのイエール大学から1985年に取得）。名古屋大学勤務をへて、現在筑波大学に勤務。授業では、日・中・韓の映画の異文化比較、映画の東西文化比較やアジアのテレビコマーシャル分析などを行っている。日本語と英語の著書多数。

ウー・ウェン（料理研究家）



中国・北京生まれ北京育ち。日本人の夫と結婚し、90年に来日以来、東京で暮らす。雑誌で発表した小麦粉料理が評判になり、料理研究家の道を歩む。日本と北京でクッキングサロンを主宰するほか、雑誌、テレビなどで活躍。その他中国の生活文化の魅力を幅広く紹介している。著書に『東京の台所、北京の台所』『餃子の時間』『ウー・ウェンの北京小麦粉料理』など多数。

リュウ・ヒャンヒ（韓国料理研究家）



韓国生まれ。1985年に来日。祖母、母から受け継いだ韓国家庭料理の味を広めるため、夫・呉 永錫(オウ・ヨンソク)と共に1993年「妻家房」をオープン。優しく繊細なオモニの味わいが、多くの人を惹きつけ、現在ではレストラン19店舗、食料品14店舗の総料理長。「はなまるマーケット」等テレビ出演、雑誌・新聞等多数出演。著書に『韓国料理人気のたれ』『妻家房の韓国家庭料理』『絶品キムチ早わかり』など。

主催：財団法人 国際文化フォーラム http://www.tjf.or.jp/index_j.html

共催：駐日韓国大使館 韓国文化院 <http://www.koreanculture.jp>
駐日中国大使館教育処 <http://www.china-embassy.or.jp/jpn/>

後援：城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>